

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-003

PDCA	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ ハウス管理事業	部課等名	健康子ども部 スポーツ課 振興担当	担当 内線等	樋口 422	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション					
		単位施策： (1) 生涯スポーツの実現					
	根拠法令等	半田市総合型地域スポーツクラブハウス条例					
	対象・目的	総合型地域スポーツクラブの活動拠点として地域のスポーツを振興することにより、市民の健康増進を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・施設全般の管理運営に関する業務 ・指定管理者による施設管理の継続 ・自主事業の企画運営					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①会員利用者数		54,887	60,477	60,862	人
		②会員外利用者数		4,400	5,531	5,084	人
		③					
		事業費		21,957	21,730	23,420	千円
		人件費		1,588	3,173	2,498	千円
		総事業費		23,545	24,903	25,918	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
	①利用者1人あたりの総事業費		397	377	393	円/人	
	②						
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①学校利用分を除く利用者数	実績値	59,287	66,008	65,946	人
			目標値	51,100	58,000	64,000	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	
		ある					
	事業の評価・課題	C					
		指定管理者であるソシオ成岩スポーツクラブの独自事業により、会員数は増加したが、猛暑や台風の影響による施設の破損で利用者数はほぼ横ばいとなった。施設竣工から約15年経過し、経年劣化による建物の維持管理や備品の修繕に費用を要する。また、ソシオ成岩スポーツクラブが行う独自事業について、施設の利用基準などを検討する必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			総合型地域スポーツクラブハウスを拠点とした各種事業を充実し、会員及び会員外(ビジター)の増加を図る。ソシオ成岩スポーツクラブと連携して計画的な施設の修繕、備品の更新を行い、利用者が安全・快適に利用できるよう環境を整える。併せてソシオ成岩スポーツクラブの施設利用方法を協議し適正な指定管理料を設定する。				
		令和元年度の目標	成果指標		目標値	単位	
①学校利用分を除く利用者数			66,500	人			